



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6330 URL <https://www.toyo-eng.com/jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 永松 治夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大和 武史 (TEL) 047-454-1521
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年3月期第3四半期	139,955	5.2	1,402	△33.5	1,816	△7.5	1,225	38.9
2021年3月期第3四半期	133,088	△19.4	2,109	14.0	1,963	53.5	882	△48.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,480百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △1,509百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	20.91	—
2021年3月期第3四半期	15.05	—

(注) 2019年3月に発行しましたA種優先株式を含めて1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2022年3月期第3四半期	228,582	41,558	18.1
2021年3月期	218,255	40,077	18.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 41,412百万円 2021年3月期 39,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	240,000	30.4	2,500	54.7	2,500	△10.1	1,500	84.1	25.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月に発行しましたA種優先株式を含めて1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	38,558,507株	2021年3月期	38,558,507株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	226,787株	2021年3月期	226,161株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	38,332,113株	2021年3月期3Q	38,332,867株

(注) 上記の発行済株式数には2019年3月に発行しましたA種優先株式は含まれておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注および販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、日本を含め全世界でオミクロン株の感染者が急増しており、今後の動向に予断を許しませんが、ワクチン接種の効果もあり重症度が低いこと、また追加ワクチンの接種の拡大により感染収束が期待されており、先進国を中心に景気回復が見られてきています。一方で感染拡大による製造業のサプライチェーンの混乱やグリーンシフトによる資源価格の高騰によるインフレリスクには注視が必要な状況であります。

このような中で当社グループの事業環境として、プラント事業分野では、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、客先が設備投資計画を控える動きがありましたが、今年度に入り、投資計画を再開する企業が出てきており、またここにきて一部の石油化学製品の価格が上がってきていることもあり、国内、インド、中国、中東、アフリカ等で石油化学関連設備の引き合いが徐々に増えてきております。環境・インフラ事業分野においては、少なからず新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、SDGs/ESG関連投資として国内外で各種の再生可能エネルギーの設備投資が見込まれており、当社グループ一丸となり今期の受注目標2,800億円の達成に注力してまいります。

こうした状況の中、当第3四半期連結累計期間の実績は、次のとおりとなりました。受注高は、上記事業環境の影響を受けたものの、国内向け石油化学プラント、複数の国内向けバイオマス発電所、インド向け化学肥料プラント、インド向け石油精製プラント等を受注し、1,779億円(前年同四半期比109.3%増)となりました。売上高(完成工事高)は、複数の国内向けバイオマス発電所、ロシア向け石油化学プラント、インド向け石油化学コンプレックス等のプロジェクトの進捗により、1,399億円(前年同四半期比5.2%増)となりました。利益面では、営業利益14億円(前年同四半期比33.5%減)、経常利益18億円(前年同四半期比7.5%減)、税金費用控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益12億円(前年同四半期比38.9%増)となり、前年同四半期比では増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形・完成工事未収入金等、未成工事支出金、預け金、その他の流動資産の増減等により、前連結会計年度末から103億円増加し、2,285億円となりました。負債については、支払手形・工事未払金等、未成工事受入金、その他の流動負債、長期借入金の増減等により、前連結会計年度末から88億円増加し、1,870億円となりました。純資産は415億円となり、前連結会計年度末から14億円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	97,609	98,513
受取手形・完成工事未収入金等	51,069	59,475
未成工事支出金	18,475	21,462
未収入金	4,218	5,069
預け金	5,005	6,500
為替予約	2,393	1,140
その他	16,715	11,814
貸倒引当金	△1,114	△1,152
流動資産合計	194,373	202,824
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	14,428	14,637
機械、運搬具及び工具器具備品	5,190	5,339
土地	6,209	6,281
リース資産	1,913	2,125
建設仮勘定	27	9
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,131	△16,840
有形固定資産合計	11,638	11,553
無形固定資産		
その他	1,792	2,695
無形固定資産合計	1,792	2,695
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	2,575
長期貸付金	4,602	4,597
退職給付に係る資産	3,391	3,572
繰延税金資産	526	703
その他	3,829	4,608
貸倒引当金	△4,557	△4,547
投資その他の資産合計	10,450	11,509
固定資産合計	23,881	25,758
資産合計	218,255	228,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	72,555	63,034
短期借入金	10,613	10,018
未払法人税等	693	377
未成工事受入金	61,138	67,246
賞与引当金	533	287
完成工事補償引当金	18	20
工事損失引当金	359	84
債務保証損失引当金	45	31
為替予約	156	553
その他	7,078	13,901
流動負債合計	153,193	155,555
固定負債		
長期借入金	16,419	23,386
リース債務	718	528
繰延税金負債	4,309	3,790
退職給付に係る負債	1,213	1,240
関係会社事業損失引当金	389	380
その他	1,934	2,142
固定負債合計	24,984	31,468
負債合計	178,177	187,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,198	18,198
資本剰余金	4,567	4,567
利益剰余金	14,677	15,902
自己株式	△446	△446
株主資本合計	36,997	38,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△128	△125
繰延ヘッジ損益	1,495	989
為替換算調整勘定	△525	460
退職給付に係る調整累計額	2,096	1,864
その他の包括利益累計額合計	2,938	3,189
非支配株主持分	142	146
純資産合計	40,077	41,558
負債純資産合計	218,255	228,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
完成工事高	133,088	139,955
完成工事原価	118,938	125,512
完成工事総利益	14,150	14,442
販売費及び一般管理費	12,040	13,040
営業利益	2,109	1,402
営業外収益		
受取利息	442	435
受取配当金	142	46
為替差益	-	144
持分法による投資利益	130	102
貸倒引当金戻入額	45	-
雑収入	308	226
営業外収益合計	1,069	955
営業外費用		
支払利息	304	312
為替差損	597	-
雑支出	313	229
営業外費用合計	1,215	541
経常利益	1,963	1,816
税金等調整前四半期純利益	1,963	1,816
法人税等	1,072	589
四半期純利益	890	1,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	882	1,225

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	890	1,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	3
繰延ヘッジ損益	765	△505
為替換算調整勘定	△1,229	760
退職給付に係る調整額	△36	△232
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,031	227
その他の包括利益合計	△2,400	254
四半期包括利益	△1,509	1,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,516	1,476
非支配株主に係る四半期包括利益	6	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループはEPC事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社および一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行およびグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注および販売の状況

当第3四半期連結累計期間における当社および当社の連結子会社の受注実績は次のとおりであります。

期別	工事別	期首繰越 工事高 (百万円)	期中受注 工事高 (百万円)	計 (百万円)	期中完成 工事高 (百万円)	次期繰越 工事高 (百万円)
前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	海外					
	石油化学	104,521	8,091	112,612	35,270	69,492
	石油・ガス	49,553	7,464	57,018	10,179	46,417
	発電・交通システム等	24,644	389	25,034	2,964	21,345
	化学・肥料	55,375	10,211	65,587	16,604	47,442
	医薬・環境・産業施設	682	2,530	3,213	799	2,339
	その他	1,717	709	2,427	810	1,548
	小計	236,495	29,397	265,892	66,628	188,586
	国内					
	石油化学	3,056	7,669	10,726	2,572	8,153
石油・ガス	11,622	5,519	17,141	11,224	5,917	
発電・交通システム等	132,247	36,299	168,546	48,309	120,247	
医薬・環境・産業施設	5,764	4,800	10,565	3,069	7,495	
その他	50	1,354	1,405	1,284	120	
小計	152,741	55,642	208,384	66,460	141,934	
合計	※△5,646 389,236	85,040	474,277	133,088	※△4,642 330,521	
当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	海外					
	石油化学	69,984	4,371	74,356	18,420	50,989
	石油・ガス	41,413	17,567	58,980	21,199	39,033
	発電・交通システム等	29,910	133	30,044	6,501	23,745
	化学・肥料	36,054	32,922	68,977	25,648	44,196
	医薬・環境・産業施設	2,339	3,582	5,922	2,973	3,145
	その他	1,130	1,731	2,861	1,477	1,398
	小計	180,833	60,309	241,143	76,220	162,508
	国内					
	石油化学	9,365	36,485	45,851	3,803	42,047
石油・ガス	5,526	4,251	9,778	6,524	3,253	
発電・交通システム等	109,018	67,886	176,904	46,473	130,595	
医薬・環境・産業施設	5,726	7,468	13,194	5,333	7,855	
その他	221	1,556	1,778	1,599	175	
小計	129,857	117,649	247,506	63,734	183,927	
合計	※1,411 310,691	177,958	488,650	139,955	※3,531 346,435	

- (注) 1 期中完成工事高は、外貨建受注工事高のうち期中完成工事高に係る為替差分(前第3四半期連結累計期間△2,920百万円、当第3四半期連結累計期間2,814百万円)を含んでおります。
- 2 次期繰越工事高は、前期以前に受注した工事の契約変更等による調整分(前第3四半期連結累計期間△7,746百万円、当第3四半期連結累計期間△5,074百万円)を含んでおります。
- 3 ※印は、外貨建契約に関する為替換算修正に伴う増減額を示しております。